

別添 2 圏域における取組等状況調査（様式 2）

【岩手県保健医療計画(2024-2029)に係る現時点の取組の概況】医療体制構築等に関する取組等（宮古保健医療圏）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 6 年度における取組状況及び予定
1 医療体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 5 (2023)年に厚生労働省から公表された医師偏在指標において岩手県は全国最下位です。特に宮古圏域は全国 335 の 2 次医療圏中 321 位と非常に低い水準にあり、医師不足が厳しい状況にあります。 ○ 宮古圏域において周産期、小児医療に関する医療資源は低い水準にあります。 ○ 高齢者の独居や老夫婦のみの世帯が増加していくことが予想されており、病気を抱えながらも住み慣れた自宅で最後まで暮らしていくことができるよう、在宅医療体制の構築が必要とされています。 ○ 地震や台風などの自然災害や新興感染症発生時などの健康危機管理への体制を整備していく必要があります。 ○ 圏域の医療資源を守り、必要な時に必要な医療が受けられるようにするため、住民一人ひとりが医療資源には限りがあることを理解し、行動することが求められます。 ○ 働き方改革の推進のため、医師など医療従事者の負担軽減のための取り組みが求められています。 	<p>(在宅医療の提供体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係者の連携や研修により、在宅医療を担う多職種の連携と人材育成を図り、在宅医療の推進に努めます。 <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮古サーモンケアネットの活用などによる連携を通じ、多職種協働と役割分担を進め、地域包括ケアシステムと地域医療構想の構築を進めます。 ○ 認知症に対する正しい知識の普及を図るとともに、認知症サポーターと関係機関の連携を図り、認知症の人とその家族を支援する取組を推進します。 <p>(医療人材の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生や高校生に向けた職場体験やセミナーを実施し、医療職を志す生徒を増やす取組を進めます。 ○ 県立宮古高等看護学院卒業生の県内就職の支援を行います。 ○ 医師を宮古圏の医療機関に招聘するために関係機関と連携し支援に努めます。 <p>(災害医療体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の際には地域保健医療福祉調整本部を設置し、災害医療コーディネーターとともに、DMAT や日本赤十字社等の支援者及び医療機関、社会福祉施設、市町村災害対策本部などの関係者の連携・調整を進めます。 ○ 日頃から災害発生の非常時を想定した訓練や研修を実施し、住民への災害対策の啓発に取り組みます。 <p>(感染症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新興感染症の感染拡大時に適切な医療提供体制を構築できるよう、研修・訓練の実施や連絡会議の開催を通じ、人材の育成及び関係機関との連携の強化を図ります。 <p>(地域の医療を守る取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ AED などの応急手当の普及を図るとともに、救急車の適正利用の啓発を継続して行います。 ○ 医療機関の診療時間内での医療機関受診や救急への適正受診について、住民に対し普及啓発します。 ○ 住民一人ひとりが自分の健康に関心を持って病気の予防や治療を行えるように支援、啓発をします。 	<p>【宮古市】</p> <p>(在宅医療の提供体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で働く医療・介護職の質の向上を目指すため、多職種連携研修会を講義のみではなく、日常的に実施するケア等実技を含めた実践形式で実施。研修にあたり宮古高等看護学院及び圏域の認定看護師との連携体制を構築している。 ○ 定期的を実施している訪問診療や看取り数を把握するため、アンケート調査を実施。 ○ 「人生の最終段階についての理解・わたしの安心ノート」というテーマで住民への普及・啓発を実施。 <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症ケアパスの改訂。相談窓口の周知用パンフレットの配布。 ○ 認知症初期集中支援チームの活動 ○ 認知症支援者による連絡会の実施 ○ 職域、住民、小中学生、高校生向けに認知症サポーター養成講座の実施。 ○ スローショッピングの実施 ○ 認知症の理解促進のための市民講演会実施。 ○ 認知症カフェの実施、認知症への理解の普及啓発。 ○ キャラバン・メイトの活動支援 ○ 認知症の相談日の実施 ○ 多職種連携研修会の実施 ○ R6 でサーモンケアネットが終了となり、それに付随して立ち上げた宮古圏域での「医療と介護の連携委員会」も今年度で終了となるため、今後地域での連携体制を推進して行く上での会議体が必要。 ○ 宮古圏域における医療・介護関係者の相互間の理解を深め、また課題を検討するサポート会議や「医療と介護のミニ広報」を定期的に発行。 ○ 介護を行っている家族のためのリフレッシュと交流を目的に「介護家族のリフレッシュ会」を毎月開催。 <p>(医療人材の確保)</p> <p>医師及び看護師の確保については、市内高校の訪問や県内外の大学等にパンフレットの送付を行い、市単独の奨学金制度である医師等養成奨学金貸付制度の周知に努めています。令和 6 年度は、看護学生 3 名をあらたに奨学生として決定しました。</p> <p>(地域の医療を守る取組)</p> <p>市の公共施設に設置してある AED について、ホームページで、周知しています。</p> <p>県立宮古病院及び休日急患診療所の診療体制、医療機関の平日利用などを記載した市民向けのリーフレットを、広報みやこ令和 6 年 7 月 15 日号に合わせて市内全戸に配布しました。</p> <p>【山田町】</p> <p>(地域における連携体制の推進)</p> <p>※ 地域包括支援センター所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護包括ケア連絡会 年 4 回開催予定 医療機関と介護事業所等の相互間の理解を深め、連携における現状や課題を共有し、その対応策を検討することで、更なる連携強化を図ることを目的とする ・認知症サポーター養成講座 認知症の正しい知識の普及啓発のため、地域住民や職域、小・中学生に対し、講座を開催する 小・中学校向け 3 回開催予定 地域住民・職域 8 回開催予定 ・チームオレンジの立ち上げ キャラバン・メイトと協力し、チームオレンジの立ち上げを進める。 ・認知症ケアパスの改訂 認知症ケアパスを改訂し、窓口や家族支援など、さまざまな場面で周知していく。 <p>(医療人材の確保)</p>

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年度における取組状況及び予定
			<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県に対し県立山田病院の診療体制の充実について要望 ・山田町の地域医療を守る会会報・講演会 ・看護学生の地域看護学実習の受け入れ <p>【岩泉町】</p> <p>(在宅医療の提供体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係者の連携により、必要な情報を共有し、在宅医療の推進に努めている。 <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮古サーモンケアネットの有効な活用ができなかった。 ○ 認知症に対する正しい知識の普及を図るとともに、認知症サポーターと関係機関の連携を図り、認知症の人とその家族を支援する取組を行っている。 <p>(災害医療体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の際には関係者の連携・調整を行った。 <p>(地域の医療を守る取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 限りある社会資源である医療機関の受診が過剰にならないように高齢者自身の体力の維持向上を図る取り組みを実施した。また、交流により心の健康も意識付ける取り組みを行なっている。 <p>【田野畑村】</p> <p>(在宅医療の提供体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮古地域医療と会議の連携委員会、久慈地域医療と会議の連携情報交換会の会議への出席。 ○ 県やいきいき岩手支援財団、医師会等主催の在宅医療に関連した研修会への参加。 ○ 地域ケア会議を、在宅医療を担う地域の専門職や行政職の連携の場とし、研修会を開催する。 ○ 福祉の専門学校の実習の受け入れ。 <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みやこサーモンケアネットへの継続加入。 ○ 認知症初期集中支援チーム員会議への出席と、その会議において圏域の地域包括支援センターとの連携を図る。 ○ 認知症初期集中支援チーム員研修 受講 1名 ○ 孫世代のための認知症講座 受講者 小学生 16名 ○ 認知症サポーター養成講座実施 修了者 19名 ○ 認知症カフェ実施予定 全4か所 計4回 ○ 介護予防ボランティア養成講座実施 1回開催 修了者 13名 ○ 介護予防ボランティアフォローアップ講座実施 1回開催 受講者 23名 ○ 介護職員初任者研修実施 受講者 9名 修了者 9名 <p>(医療人材の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 村広報により奨学生募集（周知）を行う。 ○ 村診療所において、医学生等の見学・視察の受け入れを積極的に行います。 <p>(災害医療体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害医療コーディネーターと連携・調整し、DMAT、日本赤十字社、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、民間医療機関等の協力を得ていく。 <p>(感染症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な感染症対策の他、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行う。 <p>(地域の医療を守る取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 村ホームページで村内のAED設置箇所を掲載する。消防本部ホームページと同様にe-ラーニングの活用について村ホームページに掲載するなどの普及活動を行う。 ○ 訪問等の際に適切な救急車利用の啓発普及を行う。 ○ 訪問等の機会に医療機関の適正利用について随時啓発を行う。

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年度における取組状況及び予定
			<p>○ 健康づくりや食育出前教室を実施し、地域全体の健康意識の向上を推進する。</p> <p>【消防本部】 (災害医療体制) ○ 災害発生時に適切な救助救急対応を行うため、関係機関との連絡体制を緊密にする。 (感染症対策) ○ 感染拡大時に適切な救急対応を行うため、関係機関との連絡体制を緊密にする。 (地域の医療を守る取組) ○ 応急手当講習（救急講習会）状況（R6.12.31現在） 実施回数 128回 受講者数 2,229名 ○ e-ラーニング活用 R6年度 17名が活用 ○ AED設置場所については、救急講習会等の機会を捉え継続し広報を実施する。（当消防本部ホームページ及び応急手当講習テキストに「日本救急医療財団全国AEDマップQRコード」が掲載されている） ○ 24時間利用可能な場所については、今後も検討を要す。 （「日本救急医療財団全国AEDマップQRコード」に利用可能時間も掲載されている） ○ 継続した全国版救急受診アプリ、小児電話相談の普及啓発を図りつつ、救急講習会等の機会を捉え啓発を図る。 ○ 救急車適正利用PRポスターの掲示やデジタルサイネージを表示する。</p> <p>【医師会】 ○ 一般診療科における認知症の初期対応知識向上のための研修会の開催 ○ 宮古地域医療情報連携ネットワーク（みやこサーモンケアネット）への参加協力 ○ 管内市町設置の各種委員会、協議会等への参加協力 ○ 医療機関における普及啓発（看護師・准看護師養成所PRポスターの掲示） ○ 宮古地域メディカルコントロール協議会への参加協力 ○ 医療機関における普及啓発（救急蘇生法普及啓発用ポスターの掲示、心肺蘇生法CABDカードの配布） ○ 休日急患診療所への医師の派遣 ○ ホームページによる情報発信</p> <p>【歯科医師会】 (在宅医療の提供体制) ・ 在宅歯科訪問治療の推進 ・ 医療・福祉などの多職種との連携 歯科医療において歯科衛生士・歯科技工士の確保が困難な状況が続いている ・ 関係機関との連携 ・ 奨学金等の周知 ・ 再就職の推進 (災害医療体制) ・ 関係機関との連携、災害訓練に参加 ・ 感染予防の講習会の参加・研修、関係機関との連携を行う ・ AEDの設置している歯科医院を情報提供 ・ HPや広報等から歯科における祝日診療の情報提供</p> <p>【薬剤師会】 該当なし</p> <p>【看護協会】 該当なし</p> <p>【県立宮古病院】 (地域における連携体制の推進)</p>

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年度における取組状況及び予定
			<ul style="list-style-type: none"> ■ 宮古地域医情報連携ネットワーク協議会委員会への出席 ■ サーマンケアネットの利用 ■ 介護予防のための地域ケア個別会議への出席 ■ 中学生職場体験の受け入れ ■ ふれあい看護体験の開催 ■ 各職種の実習生受け入れの継続 ■ 高校生向けの医療職進路選択セミナー開催への協力 <p>開催：R6.8.1</p> <p>【宮古第一病院】</p> <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療と介護のサポート会議出席 ・ 医療と介護の連携委員会出席 ・ 宮古地区介護認定審査会出席 <p>(看護職員の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入職者がなく、施設基準を維持するのが厳しくなり、紹介業者や応援ナースから看護職員を採用検討 ・ 当院ホームページを見直し、PRしていきたいと考えています。 ・ 岩手県看護協会への働きかけは継続 ・ ハローワークでの説明会などに参加 ・ 高校生インターンシップの実施 ・ 学生の職場体験の受け入れ <p>(リハビリ専門職の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリ学生の実習の受け入れは、感染症対策をして人数制限をしながら継続しています。 ・ オンライン説明会の実施 ・ 学校、キャリアセンターへの情報提供 ・ 全国への資料送付 ・ 対面面接 ・ 病院見学 ・ 就職説明会の参加 ・ ホームページの刷新 <p>(災害医療体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内でのAED研修会を実施 <p>【三陸病院】</p> <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮古地区介護認定審査会、宮古地区障害支援区分認定審査会へ医師、精神保健福祉士、作業療法士を派遣している。 ○ 「医療介護連携調整会議」に看護師・精神保健福祉士を派遣し、入退院のガイドライン作成や調整を行い、利用者にサービスが継続的かつ包括的に提供されるように行っている。 ○ 管内市町村が実施する「認知症初期集中支援チーム」に医師・精神保健福祉士を派遣し、認知症が疑われる人や家族に対して初期の支援を包括的かつ集中的に行い早期の治療に結びつけている。 ○ 宮古市の「認知症支援連絡会議」に継続参加し、認知症の支援のため連携及び情報共有している。 <p>西部包括支援センターと連携し、認知症カフェに看護師、介護福祉士、精神保健福祉士、作業療法士を継続派遣。テーマに合わせた講師も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西部包括支援センターと連携し、認知症カフェに看護師、介護福祉士、精神保健福祉士、作業療法士を継続派遣。 <p>(医療人材の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師の奨学金制度を周知し、奨学生確保に努める。 ○ 岩手県の看護師就職説明会へ参加し、求人活動を行う。 ○ 人材紹介会社へ複数依頼し、医師・看護職員・医療従事者の確保に努めている。 ○ 県立宮古病院の臨床研修医制度、臨床研修医へ研修協力機関として、精神科の研修を行っている。

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年度における取組状況及び予定
			<p>○ 看護師・作業療法士・精神保健福祉士を目指す学生の精神科臨床実習の場として実習指導を行っている。</p> <p>(地域の医療を守る取組)</p> <p>○ AEDの設置案内を正面玄関扉へ掲示し、どなたでも利用できるように設置場所を待合室にしている。</p> <p>○ 通院患者様へ救急車や休日急患診療所の適正利用を促し、指導を行っている。</p> <p>【宮古山口病院】</p> <p>(地域における連携体制の推進)</p> <p>○ サーマンケアネットの活用推進。</p> <p>○ 認知症疾患医療センターとして、関係機関との連携・支援に努め、認知症に関連した会議・講演会・研修会等へ積極的に人材派遣および参加をしていく</p> <p>(医療人材の確保)</p> <p>○ 研修医、看護師、作業療法士等の実習を受け入れ。</p> <p>○ 看護学校、職業訓練センターへ講師派遣。</p> <p>○ ふれあい看護体験、中学校職場体験の実施</p> <p>○ 病院見学会の開催。</p> <p>○ 県内外の就職説明会へ参加し、幅広く求人活動を行う。</p> <p>○ ホームページをリニューアルするとともに、SNS等も活用し広報活動に取り組む。</p> <p>(災害医療体制)</p> <p>○ 災害発生時には関係機関と連携し、患者の救護と医療提供の継続に努める。</p> <p>(感染症対策)</p> <p>○ 関連機関と連携し、適切な医療提供体制を構築する。</p> <p>○ 研修等への職員の参加。</p> <p>(地域の医療を守る取組)</p> <p>○ 応急手当講習会の開催。</p> <p>○ AEDの設置医療機関であることの掲示。</p> <p>○ 救急車適正利用のための取り組みを推進。(全国版救急受診アプリおよび小児電話相談の普及啓発)</p> <p>【県立山田病院】</p> <p>(在宅医療の提供体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業者研修会(山田町主催)への講師派遣: 医師1名派遣 ・訪問診療件数の拡大: 55件 ・メディカルショートステイ入院(レスパイト入院)の受入れ継続: 14件 ・退院前訪問の実施: (5件) ・退院後訪問の実施: (2件) ・訪問介護事業者との連携強化: 意見交換会2回実施 <p>(地域における連携体制の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田町包括ケア会議への参加: 2回 ・山田町地域ケア会議への参加: 2回 <p>(医療人材の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい看護体験の実施(地域の中・高生の積極的な受入れ): 高校生3名受入れ <p>(感染症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事業者等を対象とした研修会の開催: 出前講座1回開催 <p>(地域の医療を守る取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田町の地域医療を守る会及び山田町と連携し住民を対象とした講演会の開催: 1回開催、医師が講演 ・往診と訪問診療の違いについての周知: (院内掲示及び広報誌掲載) <p>【済生会岩泉病院】</p> <p>(在宅医療の提供体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岩泉地域ケア会議へ参加する。 ○ 田野畑地域ケア会議へ参加する。 <p>(地域における連携体制の推進)</p>

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年度における取組状況及び予定
			<p>○ 宮古圏域連携パス会議へ参加する。 (医療人材の確保)</p> <p>○ 医師の確保に向けて岩手県や岩手医大、岩泉町と連携をし情報共有を行う。</p> <p>○ インターンシップ、キャリア教育を活用し奨学金制度の周知を行う。</p> <p>○ 県内済生会との人事交流を行う。</p> <p>(災害医療体制)</p> <p>○ 済生会全体での災害時の連携強化を進める。</p> <p>○ 宮古地域での連携強化を進める。</p> <p>(感染症対策)</p> <p>○ 発生時に医療体制を構築できるように関係機関との体制強化を進める。</p> <p>○ 職員の教育、訓練を実施して人材育成を進める。 (地域の医療を守る取組)</p> <p>○ 救急フェアー及び救急医療研修会を開催し、住民に対し適正受診の普及啓発を行う。</p> <p>【宮古市社協】 (医療人材の確保) 看護学生実習の受入れ</p> <p>(地域における連携体制の推進) 地域包括支援センターで地域住民や高校生などを対象に認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の方への支援の仕方や理解を深めた (地域の医療を守る取組) 職員を対象にAEDなどの応急手当研修を実施し、緊急時の使用方法を確認</p> <p>【山田町社協】 (在宅医療の提供体制) 医療と介護包括ケア連絡会に参加して在宅医療の課題などを地域の事業所や病院、地域包括支援センターと協議や研修を行う予定。</p> <p>(地域における連携体制の推進) 宮古サーモンケアネットを活用して多職種協働、地域包括ケアシステムへの推進に努めます。</p> <p>(災害医療体制) 住民参加型山田町災害ボランティアセンター設置運営訓練を行い、地域へ日頃から災害発生の非常時を想定した訓練や研修を実施し、住民への災害対策の啓発に取り組む予定。</p> <p>(感染症対策) 新興感染症の感染拡大しないよう、感染予防対策の研修会へ参加を行い、人材育成に取り組む予定。</p> <p>(地域の医療を守る取組) AEDは1台稼働可能、広報誌と山田町社協ホームページに掲載。(日中のみ利用) 山田町の地域医療を守る会への参加、住民への理解促進を図っていく。</p> <p>【岩泉町社協】 該当なし</p> <p>【田野畑村社協】 該当なし</p> <p>【介護支援専門員協議会】 該当なし</p> <p>【宮古高等看護学院】</p>

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年度における取組状況及び予定
			<p>○ 入学時、学生及び家族を対象として岩手県看護職員修学資金制度について説明、ホームページや学院案内にも同制度について掲載し、制度の目的について周知を図った。</p> <p>○ 岩手県看護職員修学資金借用者は令和6年度19名（継続12名・新規7名）。借用者の県内就職を支援する。</p> <p>○ 令和6年12月末時点で就職希望者25名のうち21名が県内就職内定、県内就職率84%。</p> <p>○ 岩手県看護協会主催「宮古圏域看護管理者と教員による情報交換会」に参加（令和6年7月18日）、宮古圏域における看護職員確保の現状と課題、高校生の進路指導の課題、看護学生の就職先選択の傾向、新卒者確保の事例について共有・意見交換を実施。</p> <p>○ 令和6年6月26日県立山田高校で開催された進学説明会参加、看護の仕事の魅力や学院に関する情報を発信した。</p> <p>○ 令和6年7月20日（土）学校公開に97名の参加があった。アンケート結果より、宮古高看への進学を考えている（46名）看護に興味がある（31名）の回答があった。</p> <p>○ 県内・宮古圏域の医療施設の求人情報を学生に提供する。</p> <p>○ 卒業生から離職や転職についての相談があった場合、岩手県看護協会ナースセンターやハローワーク宮古の看護のお仕事相談等について情報提供する。</p> <p>【保健所】 （医療人材確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職進路選択セミナーの開催 管内高校年生の進路選択への動機づけを図ることを目的に、「医療職進路選択セミナー」を県立宮古病院にて実施。参加者46名。（8月） ・ 医療職紹介リーフレットの改訂・配布 上記セミナー参加者の高校生に医療職を紹介するリーフレットを配付。（8月） ・ 医学部生の地域医療実習受入れ 岩手医科大学、獨協医科大学医学部生の地域医療実習の受入れを行い、地域医療の实情や保健所業務に関する講義、施設訪問を実施。（10月） ・ 医学部生と高校生との懇談会の実施 岩手医科大学医学部生と県立宮古高等学校の生徒との懇談会を開催し、医学部に興味のある高校生が、現役医学部生に疑問や不安を相談できる機会を設けた。（10月） ・ 県立宮古病院臨床研修医受け入れ（12月）